

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	婦人・高齢者学級 各学級開催回数	実績（値）	7回
	独自の指標②	家庭教育講座・家庭教育親子講座 開催回数	実績（値）	家庭教育講座 1回 家庭教育親子講座 2回
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>「婦人学級」（学級生64人）・「高齢者学級」（学級生68人）は年9回の講座を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、年7回に講座内容を変更しました。その中でも、様々な講座（健康づくり・マナー教室・筆ペン教室等）や教材実習（フラワーアレンジメント・小物づくり）、音楽鑑賞会等を実施しました。</p> <p>また、予定していた県外への社会見学と町民集会への参加については、講座内容の変更により、中止となりました。</p> <p>「歴史を学ぶ講座」は「上牧町の古代と戦国時代」をテーマに講演を行い、各回とも80人近い受講がありました。</p> <p>また、予定していた牧野古墳・史跡上牧久渡古墳群への現地見学については、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止となりました。</p> <p>「歴史ガイドボランティア養成講座」（参加者16人）は10月から毎月2回の講座を実施し、現地見学も交えながら、上牧町の文化財についての知識を学んでもらっています。</p> <p>また、講座の内容は毎回録画をし、記録したDVDを貸出することで、欠席した方やガイドボランティアに途中加入した方への配慮を行っています。</p> <p>「家庭教育親子講座」は、ミニ銅鐸作り（参加者10組20人）と大和ハーブ演奏会（参加者16組37人）の2回を実施しました。実施日を土日にするにより、親子で参加しやすくなるようにしました。</p> <p>「家庭教育講座」については、子どもの人権についての講演会（参加者31人）を実施しました。講演後のアンケートでは、講演を聞いて、改めて子どもとの接し方を見直したいという意見が多くありました。</p> <p>また、第2回として、働く女性のストレス対処に関する講演会を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止となりました。</p> <p>全体を通じて、講座の中止や内容の変更が多くありましたが、その中でも参加者の検温や手指消毒、座席は一つずつ空ける、講座が終わった後は会場の消毒、参加者の多い婦人・高齢者学級や歴史を学ぶ講座では、講座を午前午後の2回に分けて実施する等の新型コロナウイルス感染症対策を徹底することにより、限られた中でも事業を実施することができました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「婦人学級」・「高齢者学級」については、毎年度末にアンケート調査を実施し、アンケート結果を踏まえながら内容の企画を行っています。令和2年度のアンケートでは音楽鑑賞や、新たに実施した消費者被害についての内容は好評でありました。</p> <p>「歴史を学ぶ講座」は、前年度と同様に受講者数は定員を上回る応募があり、新規受講者も増えており、住民にある程度ニーズがあるように感じます。</p> <p>「家庭教育講座」は、前年度より10人以上参加者が増えたため、保護者のニーズに沿った企画の重要性を感じます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>各講座とも参加者のニーズに合った内容の講座づくりが必要だと考えます。</p> <p>「歴史を学ぶ講座」は、平成28年度から町内在住の元放送作家に協力していただき、文化財専門員と共に毎年度講座の内容を変えて行っていますが、長期的に継続して講座を行っていくのであれば、講師陣の確保も必要です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各会場の使用人数が制限されているほか、2000年会館多目的室が長期間ワクチン接種会場となるため、講座の会場の利用には慎重に検討する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>各講座とも参加者に行ったアンケートを踏まえて、ニーズに合った内容の講座を検討して実施します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各会場の利用停止や使用人数の制限、あるいは緩和される場合がありますので、講座の会場の利用には慎重に検討し、変更があった場合は柔軟に対応する必要があります。（最も講座で利用する役場西館集会室については、R3.3.31現在で60人までに制限）</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>令和3年度もこれまでと引き続き、社会教育委員会議（年3回）を核として、生涯学習機会の充実を目指して生涯学習体制の構築を努めます。</p> <p>各種講座は、アンケート調査の結果を踏まえて、引き続き、婦人・高齢者学級や歴史を学ぶ講座・保護者対象の家庭教育講座や親子講座を実施する予定です。</p> <p>また、講座を実施する際は、参加者の検温や手指消毒等の新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら実施します。</p>					
	指標（予定）	独自	婦人・高齢者学級 各学級開催回数			10回
	独自	家庭教育講座・家庭教育親子講座 開催回数			家庭教育講座 3回 家庭教育親子講座 3回	
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																						
	独自の指標①	文化教室全受講者数	実績（値）	123人																																				
	独自の指標②		実績（値）																																					
	独自の指標③		実績（値）																																					
●事業の分析（評価の根拠・理由）																																								
<p>各教室とも6月～翌2.3月まで（全17回）の文化教室事業を行い、申込者129人に対し全受講者は、123人で回数の70%を超えた人（履修者）は、88人でした。令和2年度は、マナーABC（作法）教室の名前について、ABCがスタートの意味を表す主催者側の意図でしたが、英語教室のような意味で受け止められた経緯があり、マナーや日本の作法といった伝統的な知識を身につける教室であると理解してもらえるように①「日常のマナーと歳事」に改めました。また、同様に②華道教室を創作フラワー教室にし、③書道教室を実用書道教室に改めました。</p> <p>結果、目標としていた全受講者に満たず、名前の変更による効果もあまりみられなかったため、目標とする成果は得られなかったと考えます。</p>																																								
<p>名称変更による効果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①日常のマナーと歳事教室</td> <td>定員10人</td> <td>受講者8人</td> <td>定員10人</td> <td>受講者8人</td> </tr> <tr> <td>②創作フラワー教室</td> <td>定員10人</td> <td>受講者6人</td> <td>定員10人</td> <td>受講者5人</td> </tr> <tr> <td>③実用書道教室</td> <td>定員15人</td> <td>受講者8人</td> <td>定員10人</td> <td>受講者6人</td> </tr> </tbody> </table>						令和元年度		令和2年度		①日常のマナーと歳事教室	定員10人	受講者8人	定員10人	受講者8人	②創作フラワー教室	定員10人	受講者6人	定員10人	受講者5人	③実用書道教室	定員15人	受講者8人	定員10人	受講者6人																
	令和元年度		令和2年度																																					
①日常のマナーと歳事教室	定員10人	受講者8人	定員10人	受講者8人																																				
②創作フラワー教室	定員10人	受講者6人	定員10人	受講者5人																																				
③実用書道教室	定員15人	受講者8人	定員10人	受講者6人																																				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																								
<p>【文化教室受講状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教室数</th> <th>申込者数</th> <th>全受講者数</th> <th>履修者数</th> <th>履修率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>13</td> <td>192</td> <td>168</td> <td>92</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>13</td> <td>180</td> <td>164</td> <td>120</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>12</td> <td>160</td> <td>147</td> <td>96</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>13</td> <td>175</td> <td>161</td> <td>104</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13</td> <td>129</td> <td>123</td> <td>88</td> <td>72%</td> </tr> </tbody> </table>						教室数	申込者数	全受講者数	履修者数	履修率	平成28年度	13	192	168	92	54%	平成29年度	13	180	164	120	73%	平成30年度	12	160	147	96	65%	令和元年度	13	175	161	104	65%	令和2年度	13	129	123	88	72%
	教室数	申込者数	全受講者数	履修者数	履修率																																			
平成28年度	13	192	168	92	54%																																			
平成29年度	13	180	164	120	73%																																			
平成30年度	12	160	147	96	65%																																			
令和元年度	13	175	161	104	65%																																			
令和2年度	13	129	123	88	72%																																			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>高齢化社会が進むにつれ、学習の場を求める対象者は増加する傾向にあります。中高年層をターゲットにした日常のマナーと歳事教室は、受講者にも好評なため、募集定員を設定している講師に定員枠を増やしていただくように働きかけを行い、今後も住民のニーズにあった教室にしていくことが求められます。</p>																																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>教室の名前を中高年層に馴染みあるものに変更したことにより認知度が上がりましたが、受講数の増加に結びつきませんでしたので、中高年に受け入れられやすい新規の教室も受け入れる準備（脳トレ教室等）をします。また、ベガサスホールの活用については、文化教室で作上げた作品の発表機会を創出するなど、検討の余地があります。</p>																																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）				
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） <p>今年度は、コロナ禍により受講者数減少の影響を受けましたが、受講者アンケートの実施により満足の声をいただいており、今後は、アンケート結果を踏まえ、新規教室（脳トレ教室等）の開講に向けて準備を整え受講者の増加につなげられるように努めます。</p>				
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	<p>受講者アンケートの結果を踏まえ既存教室の適性回数の把握や新規教室（脳トレ教室等）の開設ができるよう講師になっていただける人材に働きかけを行うなど、時代のニーズにあった教室を開設する準備を行います。また、ベガサスホール（ロビー含む）を活用して文化教室の発表機会を作る取組を行います。</p>					
	指標 (予定)	KPI	ベガサスホール（大ホール）の利用状況		105日	
		独自	文化教室全受講者数		180人	
		—				
—						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①	野外での活動教室年間開催数	実績（値）	—
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度ジュニアリーダー研修事業は中止しました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 小学校5年生で新規募集を行います、小学校卒業と同時に辞めてしまう子どもが多数います。 近年は少子化傾向により、子ども会が縮小され、従来のリーダー養成についての評価が難しいですが、子どもが集団活動を経験することは、社会的意義が高く、社会的役割を担うような人物を養成するという働きもあると考えます。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施 <input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 子ども会が縮小された現在、地域のリーダーの養成という観点からは、工夫をして参加者を確保していくことが必要と考えます。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 初級リーダー研修生以外に一般（小学4年生）に参加できる機会を設け、ジュニアリーダー研修を知ってもらえる機会を設けます。 また、中学生に進級して辞めてしまった生徒に再度ジュニアリーダーとして活動に参加してもらえないか募集をする予定です。		
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	全12回のうち2回程度を一般募集（小学4年生）し、事業実施上の安全管理面を十分検討した上で、ジュニアリーダー活動を知ってもらえる機会を作ることを検討しています。研修プログラムに救急講習を取り入れ、実際に台風や地震等の自然災害が起こった時に地域の避難所で役立つ研修も実施予定です。 また、歴史ガイドボランティア養成講座の受講生にジュニアリーダー研修時にガイド案内（片岡城跡）をしてもらい、郷土学習を実施する予定です。			
	指標（予定）	独自	野外での活動教室年間開催数	3回
		—		
		—		
		—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																				
	独自の指標①	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合		実績（値）																																																																				
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																							
	<p>「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」 主な活動として図書支援・環境支援・登下校見守り支援・授業支援等を行っています。新型コロナウイルスの影響で全体的に実施日数が減り、出来ることも限られてきますが、授業支援に関して、児童が困っている時にボランティアの方がすぐに支援してくれるため、担任の目がより一人ひとりの児童に届くようになったとの意見もあり、学校教育の充実を図ることができたと考えます。新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア活動が減りましたが、マスク製作等参集しなくてもできる活動を行ったり工夫して実施することが出来ました。</p> <p>「まきっ子塾」 令和2年度もこども支援課と連携して学童保育利用者に声掛けを行い参加人数を4人増やすことができました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で回数が7回と減少したため、年度末に保護者と児童に対して、アンケート調査は行いませんでしたが、今年度から新しく取り組んでいる、児童のお迎え時に保護者へ児童の学習の様子や体調を伝えることで、保護者に安心してもらえました。学習アドバイザーは61人で、うち学生は11人おり、教員経験者や教員を目指す学生等にアドバイザーになっていただいています。退職した教員等をアドバイザーに起用することで、自活可能な高齢者を増やしつつ、高齢者の生きがいづくり、地域づくりの場となっています。教員を目指す学生にとっては、退職した教員等と交流することにより、将来について相談に乗ってもらえる機会もでき、多世代交流の機会の拡大が図られていると考えます。</p>																																																																							
二一の方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																				
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																							
	【まきっ子塾参加人数】 (各年度5月1日時点)																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">上牧小学校</th> <th colspan="2">上牧第二小学校</th> <th colspan="2">上牧第三小学校</th> <th colspan="2">合計</th> <th rowspan="2">うち、学童保育利用人数</th> </tr> <tr> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>65</td> <td>33.7%</td> <td>46</td> <td>27.9%</td> <td>76</td> <td>49.7%</td> <td>187</td> <td>36.6%</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>53</td> <td>31.4%</td> <td>52</td> <td>33.5%</td> <td>61</td> <td>43.3%</td> <td>166</td> <td>35.7%</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>37</td> <td>22.8%</td> <td>48</td> <td>34.8%</td> <td>51</td> <td>37.0%</td> <td>136</td> <td>31.1%</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>43</td> <td>27.4%</td> <td>62</td> <td>45.9%</td> <td>51</td> <td>36.7%</td> <td>156</td> <td>36.2%</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>49</td> <td>36.6%</td> <td>49</td> <td>31.2%</td> <td>63</td> <td>44.4%</td> <td>161</td> <td>37.2%</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table>						上牧小学校		上牧第二小学校		上牧第三小学校		合計		うち、学童保育利用人数	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87	平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76	平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55	令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65	令和2年度	49	36.6%	49	31.2%	63	44.4%	161	37.2%
	上牧小学校		上牧第二小学校		上牧第三小学校		合計		うち、学童保育利用人数																																																															
	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合																																																																
平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87																																																															
平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76																																																															
平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55																																																															
令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65																																																															
令和2年度	49	36.6%	49	31.2%	63	44.4%	161	37.2%	76																																																															
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地があまりすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																				
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																							
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																							
	<p>「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」 令和2年度も地域のボランティアから意欲的に良い学校づくりのために様々な活動を行いたいと要望がありました。地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図るためには、ボランティアの存在が必要不可欠であり、地域の方々と良好な関係を保ち、子どもたちの健全育成に情熱を持って活動していただいていますので、ますます重要な人材となると考えます。</p> <p>「まきっ子塾」 令和2年度の「まきっ子塾」参加人数は161人で、安全性を考えて必ず保護者のお迎えがいることで、すべての児童の参加は見込まれませんが、事業内容に関して、回数や対象学年の拡大等の要望は増えています。対象学年に関しましては、これからも小学1年生～3年生までの枠組みで運営していく方向です。</p>																																																																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」 上牧町学校・地域パートナーシップ事業について、ボランティアの調整や学校との連携を図る地域コーディネーターとの会議等を通して問題解決に取り組み、お互いに連携をとりたいと考えます。また、ボランティアの募集チラシに関して、カラーで活動写真を載せていますが、現状どの活動にボランティアが必要かなど、分かりやすくインパクトのあるチラシ作成を行いたいと考えます。 「まきっ子塾」 まきっ子塾は、平成28年9月から始まり、今後も児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に取り組んでいきます。放課後に「まきっ子塾」で楽しく学習することによって、少しずつではありますが、勉強が好きになり、学力の向上については、長い目で見ていく必要があると考えます。引き続きスムーズに運営できるよう課題解決を図りながら取り組んでいく方針です。					
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	「上牧町学校・パートナーシップ事業」 上牧町学校・地域パートナーシップ事業では、前年度に引き続きボランティアの方による、図書支援・環境支援・登下校見守り支援・授業支援等を行う予定です。また、地域コーディネーターとの会議を行うことで連携を図ること、ボランティアの方々に興味等を生かして学校の教育活動に協力していただくことで、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に実施します。 「まきっ子塾」 まきっ子塾は、学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学校1年生から3年生までの、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に、水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自主学習の支援を行っていきます。保護者のお迎えについては、開催できるように進めていきます。各小学校への入学児童数は、年々減少傾向にありますが、「まきっ子塾」への児童の参加割合と内容の充実につきましては、児童数の増減に関わらず、着実に進めていきます。その他、一人でも多くの児童に参加してもらうために、広報、ホームページ等掲載、募集チラシの工夫、学童保育利用者への声掛け等ことも支援課との連携を図ります。						
	指標（予定）	KPI	学校支援ボランティア登録者数				230人
		KPI	【まきっ子塾】学習アドバイザー				60名
		独自	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合				97%
独自	小学1年生から3年生のまきっ子塾に参加している児童の割合				40%		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>プール補修工事については、濾過機の配管改修、プール吸入口のカバー取り付け、濾過ポンプオーバーホールを行ったことにより、プールの利用者が安心・安全に利用できる環境整備ができました。 障がい者用の駐車場エリアの確保ができました。</p>				
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>体育施設の老朽化が進んでいるので、中長期財政計画に基づき計画的に修繕を等行い長寿命化を図ります。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>施設の老朽化もあり、第一テニスコート及び健民グラウンドのスタンドについても、改修が必要と思いますので、施設の健全化を検討しながら適正管理を行う必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 老朽化している施設の整備については、第一テニスコートの全面改修及び健民グラウンドのスタンド等を含めて各体育施設の現状を踏まえて作成した個別施設計画に基づき施設整備を実施します。中長期財政計画に基づき計画的に対応していきます。
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		利用者の方々が安心安全に施設を利用できるように、第一テニスコートの全面改修及び健民グラウンドの整備について検討を進めていく必要があるため、令和3年度では、地質調査等を含めた整備方法の検討を行います。
指標（予定）	—	
	—	
	—	
	—	
	—	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																							
	独自の指標①		実績（値）																																																								
	独自の指標②		実績（値）																																																								
	独自の指標③		実績（値）																																																								
●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																											
<p>新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発令され、公共施設の利用も4月と5月は利用休止となりました。上牧町体育協会主催事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。スポーツ推進委員主催事業については、当初予定の6月の子どもウォーキング、11月にさわやかウォーキングも時期をずらしての対応をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。</p> <p>体育事業のスポーツ教室につきましては、感染症対策のガイドラインに基づき受講者の手洗い、消毒、マスク等の感染防止対策を行いながらストレッチ体操を12回開催し参加者は16人でした。</p> <p>町民プールは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止により利用者はなしとなり、新型コロナウイルスの影響で利用者が少なくなりました。</p>																																																											
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【体育協会行事参加人数】</th> <th colspan="3">（単位：人）</th> <th>【体育施設利用人数】</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育協会行事 （ソフトバレー、グランドゴルフ、ソフトボール大会、スポーツフェスティバル、町民体育祭、マラソン大会、雪中登山、市町村子ども対抗駅伝）</td> <td>3,635</td> <td>580</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第一体育館（人）</td> <td>7,377</td> <td>5,777</td> <td>6,190</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二体育館（人）</td> <td>15,317</td> <td>13,309</td> <td>12,663</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第一テニスコート（件）</td> <td>515</td> <td>413</td> <td>507</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二テニスコート（件）</td> <td>336</td> <td>336</td> <td>377</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三テニスコート（件）</td> <td>942</td> <td>910</td> <td>886</td> <td></td> </tr> <tr> <td>健民グラウンド（件）</td> <td>304</td> <td>209</td> <td>243</td> <td></td> </tr> <tr> <td>釘池グラウンド（件）</td> <td>58</td> <td>42</td> <td>31</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東公園グラウンド（件）</td> <td>432</td> <td>455</td> <td>376</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度 体育祭は天候不良のため中止 ※令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>※令和2年度の4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため公共施設の利用休止</p>					【体育協会行事参加人数】	（単位：人）			【体育施設利用人数】		H30	R01	R02		体育協会行事 （ソフトバレー、グランドゴルフ、ソフトボール大会、スポーツフェスティバル、町民体育祭、マラソン大会、雪中登山、市町村子ども対抗駅伝）	3,635	580	0		第一体育館（人）	7,377	5,777	6,190		第二体育館（人）	15,317	13,309	12,663		第一テニスコート（件）	515	413	507		第二テニスコート（件）	336	336	377		第三テニスコート（件）	942	910	886		健民グラウンド（件）	304	209	243		釘池グラウンド（件）	58	42	31		東公園グラウンド（件）	432	455	376	
【体育協会行事参加人数】	（単位：人）			【体育施設利用人数】																																																							
	H30	R01	R02																																																								
体育協会行事 （ソフトバレー、グランドゴルフ、ソフトボール大会、スポーツフェスティバル、町民体育祭、マラソン大会、雪中登山、市町村子ども対抗駅伝）	3,635	580	0																																																								
第一体育館（人）	7,377	5,777	6,190																																																								
第二体育館（人）	15,317	13,309	12,663																																																								
第一テニスコート（件）	515	413	507																																																								
第二テニスコート（件）	336	336	377																																																								
第三テニスコート（件）	942	910	886																																																								
健民グラウンド（件）	304	209	243																																																								
釘池グラウンド（件）	58	42	31																																																								
東公園グラウンド（件）	432	455	376																																																								
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																							
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>運動は苦手だけど、健康のため体を動かしたい幅広い年齢層に、スポーツライフを豊かにする生涯スポーツへの関心が高まっています。ニュースポーツは、子どもから高齢者まで、また障がいの有無に関わらずにみんなと一緒に楽しめることのできるものが多く、各地で盛んに行われていますが、上牧町においても、自治会等で、誰でも参加しやすいニュースポーツの需要が見込まれています。</p>																																																										
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																							
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>スポーツ推進委員及び体育協会でニュースポーツ啓発活動に取り組んでいますが、ニュースポーツ推進拡大に向けて様々な啓発活動を検討していく必要があります。</p>																																																										

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>今後も、上牧町体育協会やスポーツ推進委員と協議しながら、各種大会・体育事業の内容の充実と円滑な運営を図ります。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>上牧町体育協会主催事業については、各施設の新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを守りながら事業計画等を進めて行う予定です。</p> <p>スポーツ推進委員主催事業については、子どもウォーキング・さわやかウォーキングを行う予定です。</p> <p>ニュースポーツの啓発活動の推進については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い各自治会等のイベントの自粛もあり、目標値を変更しています。（令和3年度には、社会体育事業として独自にニュースポーツ教室の開催を計画しています。）</p> <p>体育事業のスポーツ教室（ストレッチ体操）については、開催する予定です。</p> <p>体育施設の利用については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、公共施設の利用を行います。共有部分の消毒及び体育施設の機器の点検を実施していく予定です。</p>					
	指標（予定）	KPI	ニュースポーツの推進			100人
		-				
		-				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	ヒューマンライツセミナー年間参加者数（延べ人数）		実績（値） 25人
	独自の指標②	指導者研修会 参加者数		実績（値） 25人
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>①ヒューマンライツセミナーin上牧 上牧町子どもの居場所づくり事業（奈良県子どもの「心と学び」サポート事業受託）について、北嶋理加さん（上牧町社会福祉協議会事務局長補佐）と山本真介さん（奈良県社会福祉協議会学習支援員）に報告していただきました。新型コロナウイルスの影響で、人数を制限して実施しました。</p> <p>②指導者研修会 「命と絆とそなえ～記録映像で振り返る阪神・淡路大震災～」と題して、松崎太亮さん（神戸市役所企画調整室つなぐラボスマートシティ担当課長）講演していただきました。当初は広く参加者を募集するとしていましたが、これも人数を制限しての開催としました。講演の中で、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別についても提起していただきました。</p> <p>③家庭教育講座との共催で、「子どもの声が聞こえていますか～日々子どもへの声かけ、接し方～」と題して中村衛さん（元上牧小学校校長、奈良県教育研究所学校経営アドバイザー）に講演していただきました。参加者からは「子どもと楽しい時間を過ごせる大切なことを忘れていました。」「楽しく子育てできることに感謝したい。」など、感動の声が多く寄せられ、子どもへの声かけ・接し方を今一度見つめ直す貴重な研修となりました。31人参加</p> <p>○研修図書・資料等、各所属において有効活用することができました。 ○各関係団体助成金、負担金により、人権に関する講演会、研修会に各会員が積極的に参加し、人権意識を高めることができました。 ○人権標語 中学1年生190人（県提出6点） 人権ポスター 小学4,5年生302人（県提出4点） ○人権作文募集は全児童・生徒対象で、選考作品を人権作文集として各人権教育団体や各学校で作成されました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>平成28年度人権三法（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行され、その後、人権に関係した条例等、法整備が年々進められてきており、差別をなくすための施策と行動をさらに充実させなければならない責任が増してきたと考えられます。インターネットによる差別書き込みやSNSによる差別扇動、庁舎の窓口への「同和地区問い合わせ」等に加えて、昨年度からは「コロナ差別」も大きな社会問題となってきており、それに対応した取組や、組織づくりが求められています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、開催条件を工夫するなどして実施の方向を検討する必要があります。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、研修会等は定員制を設けて実施する必要があると考えます。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない場合であっても、情勢に応じてできることを探っていくことが必要です。また、家庭教育講座や他の講座で内容が重なる場合には、共催するなど、取組の機会を増やすよう努力したいと思えます。			
令和3年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	令和2年度も、行政・幼稚園・小中学校・地域が連携し、積極的な人権学習を推進します。また、ヒューマンライツセミナー・指導者研修会等を実施し、人権学習の継続と発展を推進します。新型コロナウイルスの影響で、参加者を制限することがまだまだ必要であると思われるので、男女共同参画関係、家庭教育講座等の研修会との連携により、研修の機会を増やす方向で取り組みたいと考えます。				
	指標（予定）	KPI	人権啓発ポスター・標語の募集及び展示		1回
		KPI	人権作文の募集		1回
		独自	ヒューマンライツセミナー年間参加者数（延べ人数）		60人
		独自	指導者研修会 参加者数		60人
—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった		
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由） 令和2年度に整備を計画していた小学5年生から中学3年生の児童生徒分の端末機は予定通り整備ができたうえ、新型コロナウイルス感染症等、緊急時の家庭学習にも対応できる環境づくりに向けて、文部科学省が推進するGIGAスクール構想の施策が拡充されたことにより、小学1年生から小学4年生の児童分の端末機についても、併せて整備を行いました。 学校施設の整備については、個別施設計画を作成し、計画的に行う環境を整えました。 ICT機器を活用した授業の実施等学校運営の展開については、学校教職員は肯定的な意見を持ちつつも、活用スキルに関する不安等の課題が挙げられます。このことを少しでも解消するために、教職員を対象とした「パソコンを使ったICT教育の研修」を開催し、スキルの向上を目指しました。 小中学校トイレ改修工事は、体育館トイレについては5校全てにおいて実施、校舎トイレについては上牧第三小学校及び上牧第二中学校において実施しました。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策で学校を臨時休校中の学習保障として、インターネットを活用したオンライン授業の配信をしました。また、各学校に校内通信ネットワークの環境整備をしました。				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある		
	評価の根拠及び理由 令和3年度も文部科学省が推進するGIGAスクール構想を踏まえた教育環境の促進に向け、ICT機器の充実・ICT教育の一層の充実が求められ、各学校にさらなるICTの活用に向けた環境整備が必要になります。 また、学校施設の安全性の向上は、保護者の強い関心・ニーズがあります。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない		
	評価の根拠及び理由 ICT機器の整備、充実については、児童生徒一人一台の端末機の活用、授業内容の充実に向けて、内容を精査しながら、今後もICTを活用した学習・指導方法の改善・効率化を図るため、多様なICT機器の整備に関する検討を進めていく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 情報端末機の活用を促進するために、ICT支援員を派遣し教育の情報化コーディネート業務など更なる教育ICT環境及び体制の整備を進めていきます。また、ICTを活用した学習・指導方法の改善・効率化を図るため、多様なICT機器の整備に関する検討を進めていきます。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	文部科学省が推進するGIGAスクール構想に向けて、令和2年度に整備した児童生徒一人一台の情報端末機を家庭に持ち帰らせて家庭学習に有効活用させるべく電源確保のためのAC充電器を購入します。また、学校では大型モニターを設置し教員の端末機の画面を児童生徒に提示又は児童生徒の端末機の画面を映し出してより分かりやすい発表をすることで、更なるICT教育の環境整備を行います。				
	指標（予定）	-			
		-			
		-			
		-			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①		実績（値）	
	独自の指標②		実績（値）	
	独自の指標③		実績（値）	
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>上牧町 授業研究プロジェクト「パソコンを使ったICT教育の研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師 株式会社大崎コンピュータエンジニアリング ●日時 令和2年8月6日（木） 参加者 教員34人（各学校代表者） <p>「Google for Education」～「G Suite」の基本的な活用ガイド～</p> <p>上牧町 Google G Suite 研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師 株式会社大崎コンピュータエンジニアリング ●日時 令和3年3月23日（火） 参加者 教員67人（各学校代表者） <p>「G Suite 教職員向け基礎研修（授業編）」</p> <p>上牧町教職員夏期研修会（アレルギー疾患対応）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりましたが、臨時休校中の学習保障としまして、北葛城郡4町（上牧町、広陵町、王寺町、河合町）で協同してインターネットを活用したオンライン授業を配信しました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>この事業の目的は、「児童生徒一人ひとりの能力・学力を伸ばす」ことであり、その成果は必ずしもすぐには表れるものではありませんが、ICT教育の一層の充実が求められることは明らかです。また、「児童生徒一人ひとりの能力・学力を伸ばす」ことの大前提として、安全・安心な学校生活が求められ、そのためには教職員一人ひとりが安全・安心につながる様々な知識や技能を有しておく必要があります。以上のことから、関連する研修のニーズは今後も増加していくと想定されます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>ICT機器の効果的な活用により、児童生徒の学習意欲の向上を促し、学力向上につながる授業研究を実施していきたいと考えます。また、研修会については、ICT活用のレベルに応じた教員研修の実施を検討しています。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>「ICT機器の効果的な活用により、児童生徒の学習意欲の向上を促し、学力向上につながる授業研究を実施していきたいと考えます。また、ICTを活用した学習・指導方法の改善・効率化を図るため、多様なICT機器の整備に関する検討を進めていきます。」</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>ICT機器を活用した授業づくりに関する研修と、学校保健に関する研修の実施を予定しています。ICTに関する研修では、文部科学省が推進するGIGAスクール構想に関する内容を含んだもの、児童生徒一人一台の端末機を活用して行える取組を学が実践的な研修の実施を検討します。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策として学校を臨時休校とした際の学習保障として、インターネットを活用して双方向型授業（児童生徒が自宅にいても端末機を活用して先生が児童生徒へ一方通行に授業するのではなく、対面式の従来の授業に近いスタイル）の可能性や、家庭学習のための支援の在り方について検討します。</p> <p>また、令和2年度に整備したICT機器の活用に関する導入支援を行うGIGAスクールサポーターを配置し、各小中学校の教職員のサポートを検討します。</p>					
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				
	指標（予定）	-				

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和2年度	総合計画掲載ページ	90ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づく上牧っ子を育むまちづくり—			
	基本施策	④ 学校教育			
	施策の展開方向	② 子どもの学力向上支援			
目指す姿	タイトル	子どもの能力を伸ばせるまち			
	学校・家庭・地域が連携した本町独自の教育体制・教育環境の充実により、児童生徒一人ひとりの能力・学力を伸ばすことのできるまちを目指します。				
想定される取組	【ICTを活用した教育支援】【学校支援事業の研究・協議】【様々な専門講座の開催】【まきっ子塾の開催】				
令和2年度実施予定	<p>「まきっ子塾」 すべての児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に、水曜日の放課後1時間程度、小学1年生から3年生を対象に、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や学習プリントによる自主学習の支援を行います。 事業費については、「⑤教育文化①生涯学習③多世代交流機会の創出」の事業費に含まれています。</p> <p>「子ども体験学習」 青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習を実施します。また、実施内容については、前年度に引き続き理科の実験・工作教室（3回）を継続して実施し、新しい取組として茶道体験教室（2回）を実施予定です。 新型コロナウイルスの影響により、青少年健全育成事業で実施しているジュニアリーダー研修が実施できない可能性があるため、「子ども体験学習」において、追加で新しく体験講座を企画し、講座回数を増やしていくことを検討しています。</p>				
独自の指標	指標①	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合	目標（値）	97%	
	指標②	専門講座の年間開催数	目標（値）	5回	
総合戦略の取組	2. 学習支援教室（まきっ子塾）の開催	14. 様々な専門講座の開催			

2. 実施結果「D0（実施）」

（単位：千円）

項目/年度	R02時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考
	R03時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（予算）	
事業費	上牧町学力支援向上事業（まきっ子塾）						事業費は⑤教育文化①生涯学習③多世代交流機会の創出に掲載
	子ども体験学習事業		45	80	80	98	98
			45	80	80	106	136
合計	(R02時点)	45	80	80	98	98	5年間累計 401
	(R03時点)	45	80	80	106	136	5年間累計 447
令和2年度実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった					
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	<p>「まきっ子塾」 令和2年度の「まきっ子塾」は新型コロナウイルス感染症の影響により、一学期は中止、二学期は9月30日から11月11日までの7回で終了、三学期は中止となりました。例年年度末に行っている、保護者と児童に対するアンケート調査は、開催回数が7回と減少したため行いませんでした。保護者や学習アドバイザーへの連絡（「まきっ子塾」の再開、中止、これからの予定等）は、適宜丁寧に行いました。</p>					

※「R02（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R01 (2019年)	R02 (2020年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
学校支援事業の研究・推進	勉強が好き・よくわかると思う子どもの割合	%	<p>【小学6年生】 国語56.7 (県61.4) 算数66.3 (県62.8) 【中学3年生】 国語51.3 (県56.5) 数学59.0 (県53.2)</p>	<p>【小学6年】 ○国語62.0% (県63.1%) ○算数63.6% (県65.8%) 【中学3年】 ○国語52.9% (県59.1%) ○数学54.6% (県53.6%)</p>	<p>県平均以上</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、学力調査中止のため実績値なし</p>	県平均以上	県平均以上

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																																						
	独自の指標①	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合		実績（値） —																																																																																						
	独自の指標②	専門講座の年間開催数		実績（値） 7回																																																																																						
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>「まきっ子塾」 令和2年度も子ども支援課と連携して学童保育利用者に声掛けを行い当初の参加人数より4人増やすことができました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で回数が7回と減少したため、年度末に保護者と児童に対して、アンケート調査は行いませんでしたが、今年度から新しく取り組んでいる、児童のお迎え時に保護者へ児童の学習の様子や体調を伝えることで、保護者に安心してもらえました。「『まきっ子塾』で勉強してくれるので助かります」「『まきっ子塾』が楽しいと言っていました」等の声を多数いただきました。</p> <p>「子ども体験学習」 本町の子どもたちにとって理科は苦手な領域であるため、理科好きの子どもの育成を目的として、令和元年度に引き続き理科の実験・工作教室を主として実施しました。</p> <p>また、参加者数について、新型コロナウイルスの影響により定員を縮小して実施したため、前年度よりも少なくなっています。しかし、新規の講座（茶道体験）の実施や、新型コロナウイルスの影響で中止となった事業の代替企画として追加で体験学習を実施するなど、講座の開催数の増加に努めました。</p> <p>（実施内容）</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>プログラミング教室「ロボットカーを動かそう」</td> <td>(小学5・6年生) 8人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>科学実験とおもちゃ（グライダー）作り</td> <td>(未就学児・保護者) 14組43人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>理科工作教室（イライラ棒・炭電池）</td> <td>(小学5・6年生) 13人</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>科学実験とおもちゃ作り</td> <td>(未就学児・保護者) 10組17人</td> </tr> <tr> <td>第5・6回</td> <td>茶道体験</td> <td>(小学3～6年生) 第5回：8人、第6回：5人</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>日光写真（追加）</td> <td>(小学5・6年生) 7人</td> </tr> </table> <p>（令和元年度 親子参加者数：59組154人 令和2年度 親子参加者数：24組101人）</p> <p>※第7回については、新型コロナウイルスの影響により、青少年健全育成事業で実施している令和2年度ジュニアリーダー研修が中止となったため、追加で体験講座を実施しました。</p> <p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>【まきっ子塾参加人数】 (各年度5月1日時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">上牧小学校</th> <th colspan="2">上牧第二小学校</th> <th colspan="2">上牧第三小学校</th> <th colspan="2">合計</th> <th rowspan="2">うち、学童保育利用人数</th> </tr> <tr> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾参加人数</th> <th>参加割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>65</td> <td>33.7%</td> <td>46</td> <td>27.9%</td> <td>76</td> <td>49.7%</td> <td>187</td> <td>36.6%</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>53</td> <td>31.4%</td> <td>52</td> <td>33.5%</td> <td>61</td> <td>43.3%</td> <td>166</td> <td>35.7%</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>37</td> <td>22.8%</td> <td>48</td> <td>34.8%</td> <td>51</td> <td>37.0%</td> <td>136</td> <td>31.1%</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>43</td> <td>27.4%</td> <td>62</td> <td>45.9%</td> <td>51</td> <td>36.7%</td> <td>156</td> <td>36.2%</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>49</td> <td>36.6%</td> <td>49</td> <td>31.2%</td> <td>63</td> <td>44.4%</td> <td>161</td> <td>37.2%</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table>					第1回	プログラミング教室「ロボットカーを動かそう」	(小学5・6年生) 8人	第2回	科学実験とおもちゃ（グライダー）作り	(未就学児・保護者) 14組43人	第3回	理科工作教室（イライラ棒・炭電池）	(小学5・6年生) 13人	第4回	科学実験とおもちゃ作り	(未就学児・保護者) 10組17人	第5・6回	茶道体験	(小学3～6年生) 第5回：8人、第6回：5人	第7回	日光写真（追加）	(小学5・6年生) 7人		上牧小学校		上牧第二小学校		上牧第三小学校		合計		うち、学童保育利用人数	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87	平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76	平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55	令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65	令和2年度	49	36.6%	49	31.2%	63	44.4%	161	37.2%
第1回	プログラミング教室「ロボットカーを動かそう」	(小学5・6年生) 8人																																																																																								
第2回	科学実験とおもちゃ（グライダー）作り	(未就学児・保護者) 14組43人																																																																																								
第3回	理科工作教室（イライラ棒・炭電池）	(小学5・6年生) 13人																																																																																								
第4回	科学実験とおもちゃ作り	(未就学児・保護者) 10組17人																																																																																								
第5・6回	茶道体験	(小学3～6年生) 第5回：8人、第6回：5人																																																																																								
第7回	日光写真（追加）	(小学5・6年生) 7人																																																																																								
	上牧小学校		上牧第二小学校		上牧第三小学校		合計		うち、学童保育利用人数																																																																																	
	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合	まきっ子塾参加人数	参加割合																																																																																		
平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87																																																																																	
平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76																																																																																	
平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55																																																																																	
令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65																																																																																	
令和2年度	49	36.6%	49	31.2%	63	44.4%	161	37.2%	76																																																																																	
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「まきっ子塾」 保護者の意見として、「もっと回数を増やしてほしい」、「もっと時間を増やしてほしい」、「4～6年生もしてほしい」、「お迎えなしにしてほしい」等、事業内容に関して、回数や対象学年の拡大等の要望が引き続きありますが、これからも対象学年については、学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生までの枠組みで運営していく方向です。</p> <p>「子ども体験学習」 普段、学校の授業では体験できないような個々の能力を伸ばす専門的な体験講座の開催が求められています。</p>																																																																																									
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																																																						
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「まきっ子塾」 一人でも多くの児童に参加してもらうため、町及び各学校HPでの周知の徹底、学童保育の子ども達への呼びかけ、政策自慢で発表したプレゼンテーションを利用した保護者へのアプローチ、大学連携等、さらなる工夫が必要であると考えます。</p> <p>「子ども体験学習」 平成28年度から実施している事業であり、本町の子どもたちは理科が苦手ということで、理科好きの生徒の育成を目的として、理科の実験・工作教室を継続で実施する予定です。また、今後は理科の実験・工作教室以外でどのような体験講座が必要であるかを検討する必要があると考えられます。</p>																																																																																									

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>「まきっ子塾」 まきっ子塾は、平成28年9月から始まり、今後も児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に取り組んでいきます。放課後に「まきっ子塾」で楽しく学習することによって、少しずつではありますが、勉強が好きになり、学力の向上については、長い目で見ていく必要があると考えます。引き続きスムーズに運営できるよう課題解決を図りながら取り組んでいく方針です。</p> <p>「子ども体験学習」 アンケート調査を実施し、その結果を基に今後の体験講座を検討していきたいと考えます。</p> <p>「まきっ子塾」 学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に、水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っていきます。保護者のお迎えについても、ここ数年の多発する交通事故や不審者問題への対応として、従来どおり保護者にお迎えに来てもらう形で進めていきます。また、開塾にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大の状況を見ながら、令和2年度に作成した新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを遵守し、マスクの着用、机にアクリル版を設置、消毒や検温、換気を徹底し、1学期から開催できるように進めていきます。</p> <p>各小学校への入学児童数は、年々減少傾向にありますが、「まきっ子塾」への児童の参加割合と内容の充実につきましては、児童数の増減に関わらず、着実に進めていきます。その他、一人でも多くの児童に参加してもらうために、広報、ホームページ等掲載、募集チラシの工夫、学童保育利用者への啓発等も子ども支援課との連携を図ります。</p> <p>「子ども体験学習」 前年度と同様に理科の実験・工作教室は継続して実施する予定です。茶道教室についても引き続き実施予定です。また、新しい取組として、木工工作を採り入れ、全6回の体験講座を開催する予定です。さらに、バガサステスタ開催日にブースを設けることで、より多くの子どもたち、保護者に積極的に参加し体験していただきたいと考えます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	KPI	学校支援事業の研究・推進			県平均以上	
	独自	親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合			97%	
	独自	小学1年生から3年生のまきっ子塾に参加している児童の割合			40%	
	独自	専門講座の年間開催数			6回	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																								
	独自の指標①		実績（値）																																																									
	独自の指標②		実績（値）																																																									
	独自の指標③		実績（値）																																																									
<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>コミュニケーションや学習につまずきを感じている児童に寄り添いながら個々の児童の能力を伸ばさせていく形で小学校通級指導教室の運営を行うことができました。指導方法の創意工夫や保護者からの教育相談に丁寧に対応し、また、他の教職員に対する指導助言等が総合的に効果を上げ、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童の成長が見られました。</p> <p>さらに、教員が上牧町や河合町・王寺町の児童在籍校に赴いて指導する訪問通級指導も定着し、北葛城郡における通級指導教育のセンター的役割を果たすことができました。そのことが、個別の教育的ニーズのある児童生徒への対応等、インクルーシブ教育システム構築につながるものだと考えます。</p> <p>令和2年度は、以前から小学校通級指導教室に通う児童の保護者や学校教員から要望の大きかった中学校通級指導教室を開設し、小学校に引き続き個々の生徒に応じたきめ細やかな指導を行いました。</p>																																																												
<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p>																																																												
<p>【小学校通級指導教室 利用人数】 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>36</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>王寺町</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>河合町</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>広陵町</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【中学校通級指導教室 利用人数】 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R02</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	上牧町	22	25	35	31	31	36	43	王寺町	3	6	5	9	13	17	15	河合町	1	3	3	5	8	9	12	広陵町	4	11	12	15	25				H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	上牧町							5
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02																																																					
上牧町	22	25	35	31	31	36	43																																																					
王寺町	3	6	5	9	13	17	15																																																					
河合町	1	3	3	5	8	9	12																																																					
広陵町	4	11	12	15	25																																																							
	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02																																																					
上牧町							5																																																					
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>質の高い指導が保護者から好評で、指導時間や回数を増やしてほしいとの要望や、中学校通級指導教室では王寺町や河合町の生徒を受け入れてほしいとの声が上がっています。</p>																																																											
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																								
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>指導時間や回数等の要望がありますので、ニーズに合った指導ができるように検討していきたいと考えます。県と市町村との地域連携のひとつでもある本事業は、保護者や教職員の理解も深まっており、訪問通級指導の実施による北葛城郡内のセンター的役割も担い、総合的に効果を上げていると考えます。そのため、担当以外の教職員についても、通級指導教室に対する理解を深めていく必要があると考えます。</p> <p>また、中学校通級指導教室を開設したことに伴い、児童生徒に対する継続した指導ができるよう、小中学校の連携が求められると考えます。</p>																																																											

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>自閉情緒等の障がいを抱える子どもたちが、集団の中でストレスを抱え込むことなく、充実した学校生活を送ることができるよう、それぞれの子どもの教育的ニーズや、保護者の願いにより応えることができるよう、通級指導体制の充実を図ります。通級指導教室に対する理解を深めることを目的として、担当以外の教職員に対しても奈良県立教育研究所が開催している研修会への参加を促していきます。</p> <p>また、令和2年度から中学校通級指導教室を開設したことに伴い、児童生徒に対する継続した指導ができるよう、小中学校の連携を密にして進めていきます。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>令和3年度も、引き続き王寺町・河合町と本町で小学校通級指導教室を実施し、訪問通級指導についても実施していく予定です。中学校通級指導教室についても、継続して実施し、小中学校で継続したよりきめ細やかな指導を実施していきます。また、新型コロナウイルス感染症対策において、グループ指導の際にはパーテーションを使用するなどの対策を講じながら安全に実施できるよう努めていきたいと考えます。</p> <p>また、通級指導員を指導する指導員を配置し、より一層事業の充実を目指します。</p>					
	指標（予定）	KPI	通級指導教室の充実			4人
		—				
—						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①	県内企業や地域との交流活動回数		実績（値） 2回
	独自の指標②	職場体験		実績（値） -
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>【上牧中学校】 職業人を講師とした講演会を開催し、118人の生徒が参加しました。生徒は、講演会を受講した後、自ら新商品を企画したり顧客を増やしたりするための企画について立案・プレゼンテーションを行い、その内容について講師に講評していただくという内容で、「主体的探究心と問題解決能力」「価値あるものを創造する力」「プレゼンテーション能力の向上」を生徒に身につけさせることによってキャリア形成を図ろうと考えました。講演会の名称は、「仕事のプロに学ぶ講演会」としました。プロの視点からの講評は具体的かつ的確であり、社会で働くことに係る課題や問題は、生徒が想定したものをはるかに超えるものであることを理解し、同時にやりがいや意義、奥深さ等も理解することができ、就労に関する理解と意欲の向上につながりました。</p> <p>【上牧第二中学校】 当初予定していた職業体験が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、県内医療機関の医師を講師として招いた生徒向けの講演会に変更して開催し、57人の生徒が参加しました。後日、講師へ向け生徒が感想文を作成することによって、自身が学習した内容を振り返る機会となり、将来に向けた職業観を形成する一助となりました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>キャリア教育の一環である本事業を通して、職業には多様な分野があることが理解できます。あわせて、それぞれの職業に特色があることや、そこで働く人々の生の声を聴くことによって、その職業の素晴らしさや大変さ、やりがい等を知ることができます。特色には地域性も大きく関係していることから、キャリア教育と同時に地元・上牧（奈良）に対する愛着や誇りを持つきっかけとしても期待できると考えます。また、それまで漠然としていた職業観が、キャリア教育を通してより鮮明なものとなることが推察されますので、数年後、生徒たちに訪れる職業選択の時に、判断基準の一つとして本体験学習の経験が生かされることを期待しています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>事業は現状を維持しながら進めていくことが基本となりますが、学習内容をより充実・発展させるための見直しとして、講師や事業所の新規開拓が挙げられます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 上牧中学校、上牧第二中学校それぞれが目指す教育目標や実情に合わせて、必要があれば随時内容の見直しを行い、柔軟に対応したいと考えます。上牧中学校においては講習会にて講習していただく講師の方の新規開拓、上牧第二中学校においては新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながら、講演会の検討・職場体験先の事業所の新規開拓について、可能性を模索します。			
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【上牧中学校】 令和2年度に実施した内容を踏襲し、職業人を招いた講演会を生徒が受講した後に自ら新商品を企画したり顧客を増やしたりするための企画について立案・プレゼンテーションを行い、その内容について講師に講評していただくという内容を予定しています。また、新たな講師については、今後も探していきたいと考えます。</p> <p>【上牧第二中学校】 職業体験については新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながらの開催を検討し、就労に関しての幅広い知識や興味を獲得すると同時に、将来に向けた職業観の形成と意識改革を図ることを予定しています。また、職業体験実施前には職業人を講師として招いて仕事に関する講演会を開催したり、ビジネスマナーを学ぶ講習会を開催することも予定しております。新たな講師や職業体験先については、今後も探していきたいと考えます。</p>				
	指標（予定）	独自	県内企業や地域との交流活動回数		3回
		-			
		-			
-					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	独自の指標①			実績（値）
	独自の指標②			実績（値）
	独自の指標③			実績（値）
●事業の分析（評価の根拠・理由）				
<p>英語については、英語で歌う歌やダンスの曲を変えた際にも、子どもたちは戸惑うどころか、いつもより楽しんで取り組んでいる姿が見受けられていることから、英語に対して抵抗感なく興味をもって楽しむことができていると考えます。</p> <p>運動指導については、運動が苦手な子どもでもわかりやすい指導で、苦手克服につながり、子どもたちの自信につながっているように思われます。また、休み時間に体育教室で習った縄跳びや鉄棒等に自分から取り組む姿も見られ、運動に対する興味や関心がより一層高まったように考えられます。日常生活では子どもの運動不足を感じている保護者の方もいるので、安全な環境で子どもに適切な運動をさせるという体育教室の目標は達成できていると思います。</p> <p>特別支援スタッフについては、支援を要する子どもへの支援のありようを担任教員と特別支援スタッフが指導計画等（それぞれの子どもに合った目標設定や具体的な支援方法）を話し合い、同じ方向性を持って子どもたちに関わることができています。子どもたちが自分でできることは見守り、困ったときにはすぐに手を差し伸べるなど、それぞれの子どもたちに寄り添った支援ができていると考えます。また、特別支援スタッフがクラスにいることで、担任教員一人ではクラスの子どもたち全員に関わりきれない時にも安心してクラス運営ができ、子どもも困ったことがあれば特別支援スタッフに助けを求めると、子どもはもちろんのこと先生にとっても安心して存在になっています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策では、ソーシャルディスタンスを保ち、換気をこまめに行うなどの対策を講じながら安全に実施できるよう努めました。</p>				
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>対象が幼児ということもあり、大人に比べ英語に耳が慣れるのも早いと思われる。また、毎回、歌ってくれる英語の歌については、一緒に歌える園児もいるほどで、子ども自身が楽しみながら英語を身につけられています。現場の教員からの評価も高く、また英語教育の重要性については保護者も強く感じているところであることから、英語教育のさらなる充実を求める声が増えました。</p> <p>個人で体育指導の習い事をするというのはかなりハードルが高く、また運動を「楽しむ」という観点からも集団で一緒に運動をすることが重要であると考えます。運動が得意な子どもがよりレベルの高い課題に専門家の指導のもとに挑戦することができるだけでなく、運動が苦手な子どもも幼稚園で安全な環境の中、専門家が設定するスモールステップにより適切に指導されることで運動が好きになり、運動習慣が身についていくと考えられます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>英語の歌やダンスを中心とした遊びながら自然と身につく英語教育に引き続き取り組んでいき、今後ますます進んでいくグローバル化に少しでも幼少期から慣れ親しめるように、英語を母国語とする日本滞在外の外国人の方を招いて園でのイベントなどを一緒に行うなど、今まで以上に日常的に英語に触れることを目的に進めていきたいと考えています。</p> <p>体育教育においても就学前教育の根幹にあるものとして、園児一人ひとりが自らの活動の中で遊びを中心とした生活を通して発達段階や適性に応じて総合的な指導が求められていますので、引き続き体力向上のための基礎体力の指導を行いながら、楽しんで運動に取り組み、運動に対して興味を持たせる教育を行っていきたくと考えています。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>令和元年度に保護者に対して実施したアンケートの結果、英語教育や体育教育で何を実施しているのか内容をあまり把握していないとの意見がありましたので、ホームページ、PTA広報誌、クラスだより、園内掲示板に展示などで発信し、保護者の理解を深め、共有し、ニーズに応えられるよう研究をしていきたいと考えています。</p>				
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【英語教育の充実】…外国人講師を招き、英語を楽しみながら身近に体験させ、園児の段階から英語や外国人とのふれあいの中で英語や情操教育を進めます。</p> <p>【体育教育の充実】…民間のスポーツ指導講師に授業を担当していただき、園児の基礎体力の向上を目指します。</p> <p>【特別支援スタッフの充実】…上牧幼稚園において、支援が必要な園児には必ず特別支援スタッフを配置し、園児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めます。また、保護者に対してアンケートを実施した結果を踏まえて幼児教育について何を希望されているのか検討していきたいと考えています。</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら安全に実施できるよう努めていきたいと考えています。</p>					
	指標（予定）	KPI	上牧幼稚園児数			180人
		KPI	英語・体育教室の充実			47回
		-				
-						

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた <input type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																							
	独自の指標①	歴史ボランティアガイドの養成人数	実績（値）	16人																					
	独自の指標②		実績（値）																						
	独自の指標③		実績（値）																						
	●事業の分析（評価の根拠・理由） 史跡上牧久渡古墳群整備事業については、整備工事において、開発行為許可申請に伴う調査委託業務が必要になったため、令和2年度の年次計画であった実施設計業務と整備工事を完了できず、年次計画の見直しを行わないといけない状況になりました。 歴史ガイドボランティア養成講座については、平成29年度に町長部局において史跡上牧久渡古墳群の概略について3回講座が実施されましたが、令和2年度からは史跡上牧久渡古墳群を中心に町全体の文化財についてのガイドを養成するため、10月から月2回、文化財専門員による講習と現地研修を行いました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、住民の外出の機会が減り自宅で過ごす時間が増えたので、上牧町の文化財を知っていただくためSNSを利用して文化財を紹介する10分程度の番組を4番組作成し、YouTube配信を行い好評を得ました。 郷土学習として画文帯環状乳神獣鏡や上牧銅鐸のレプリカ等を小学校に貸出を行い、活用していただくことができました。																								
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																									
【史跡上牧久渡古墳群整備事業年次計画】																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">（当初計画）</th> <th>（計画変更） 予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>保存活用計画策定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>整備基本計画策定・基本設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>実施設計・第一期整備工事</td> <td>実施設計</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>第二期整備工事</td> <td>実施設計・第一期整備工事</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>第三期整備工事・整備報告書作成</td> <td>第二期整備工事</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td></td> <td>第三期整備工事・整備報告書作成</td> </tr> </tbody> </table>					（当初計画）		（計画変更） 予定	H30	保存活用計画策定		R01	整備基本計画策定・基本設計		R02	実施設計・第一期整備工事	実施設計	R03	第二期整備工事	実施設計・第一期整備工事	R04	第三期整備工事・整備報告書作成	第二期整備工事	R05		第三期整備工事・整備報告書作成
（当初計画）		（計画変更） 予定																							
H30	保存活用計画策定																								
R01	整備基本計画策定・基本設計																								
R02	実施設計・第一期整備工事	実施設計																							
R03	第二期整備工事	実施設計・第一期整備工事																							
R04	第三期整備工事・整備報告書作成	第二期整備工事																							
R05		第三期整備工事・整備報告書作成																							
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある <input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない <input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																							
	評価の根拠及び理由 平成28年度から実施している「歴史を学ぶ講座」の参加者も増加しており、平成24年度からの上牧久渡古墳群発掘調査・整備事業の実施にあわせて、国史跡上牧久渡古墳群を中心に上牧町の文化財についての注目度も高まっています。																								
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施 <input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要 <input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																							
	評価の根拠及び理由 史跡上牧久渡古墳群整備事業において、町長部局のまちづくり創生課と連携し、整備事業を更に円滑に進めて行く必要があります。郷土学習としてレプリカ等を小学校に貸出を行い活用していただいています。今後は、園児児童生徒向けに町内の郷土学習のための教材作り（絵本等）を行うことにより更なる普及・啓発につながると考えます。																								

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方向性	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 史跡上牧久渡古墳群整備事業において、町長部局のまちづくり創生課と連携し、整備事業を更に円滑に進めて行く必要があります。		
令和3年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	史跡上牧久渡古墳群整備事業については、実施設計・整備工事を実施予定です。 歴史ガイドボランティア養成講座については、昨年度に引き続き受講生には知識を深めてもらい、今後は町主催事業等でガイドの活躍の機会を設けていきたいと考えております。 令和2年度に引き続き、SNSを利用して文化財を紹介する10分程度の番組を作成しYouTube配信を行っていき、郷土学習に活用していただくため、園児児童生徒向けに町内の郷土学習のための教材作り（絵本等）を行う予定です。			
	指標（予定）	KPI	上牧久渡古墳群の整備	用地100整備60
		独自	歴史ボランティアガイドの養成人数	30人
		-		